

(6月の果実見通し)

品目	区分	入荷量(t)			キロ当たり単価(円)			山形県産前年実績		コメント
		前年実績	前年比見込(%)	5ヵ年平均	前年実績	前年比見込(%)	5ヵ年平均	入荷量(t)	占有率(%)	
すいか類		10,243	75	10,359	162	102	173	4	-	大玉すいかは千葉産を中心に熊本、鳥取産が出回る。千葉産はトンネルの作付けは減。中旬に入荷の谷間が予想され、下旬から露地がスタートする。生育は遅れ気味。熊本産は入荷順調であるが6月上旬で終了する見込み。鳥取産は6月中旬から始まるが出だしの量は少ない。消費地の天候如何だが、入荷減を反映し強めの展開。
メロン(アンデスメロン)		1,740	95	1,677	285	99	333	110	6.3	本シーズンは面積、計画生産量とも前年を下回る。茨城産中心の入荷となるが、低温曇天の影響により作柄は不安定で、小玉果は多い見込み。そのため大玉果の引き合いが強まり、階級間価格差が大きくなる予想。価格は基調高の前年並。
おうとう		1,335	95	1,180	1,673	96	1,740	1,089	81.6	山形産のハウスは6月上旬でほぼ終了する。露地ものは6月上旬から始まるが、増量ペースはゆっくり。生育は全般に遅れ気味。
ハウスみかん		601	109	803	982	95	956	0	0	佐賀、大分、愛知産中心の入荷となる。佐賀、大分産は6月中ごろから宮川早生に変わり食味は向上する。愛知産は6月出荷から荷姿はすべて5kg箱に変更。全体の入荷量は前年を上回り、販売が厳しい中、価格は前年並からやや安の見込み。
ぶどう(デラウエア)		676	95	656	898	105	945	26	3.8	島根、大阪、山梨中心の入荷となる。全般に生育遅れと小房傾向が見られるが、施設もののため食味レベルは高い。主産地の入荷量はいずれも前年を下回り、品薄の中、販売は堅調。

品目	区分	入荷量(t)			キロ当たり単価(円)			山形県産前年実績		コメント
		前年実績	前年比見込(%)	5ヵ年平均	前年実績	前年比見込(%)	5ヵ年平均	入荷量(t)	占有率(%)	
びわ		342	95	347	803	107	871	-	-	長崎、千葉中心の入荷となる。長崎産は6月上旬で切りあがるがやや遅れる。千葉産は5月下旬後半から露地に切り替わる。全体的に品薄感がやや強まり、販売堅調。
マンゴー		188	98	148	2,075	94	2,112	-	-	宮崎中心に入荷。6月上中旬はピークシーズンを迎え、潤沢入荷。中元需要も強まり、6月通じて価格堅調だが、基調高の前年に比べ軟調推移。